



まくべつ

わたしたちのまち

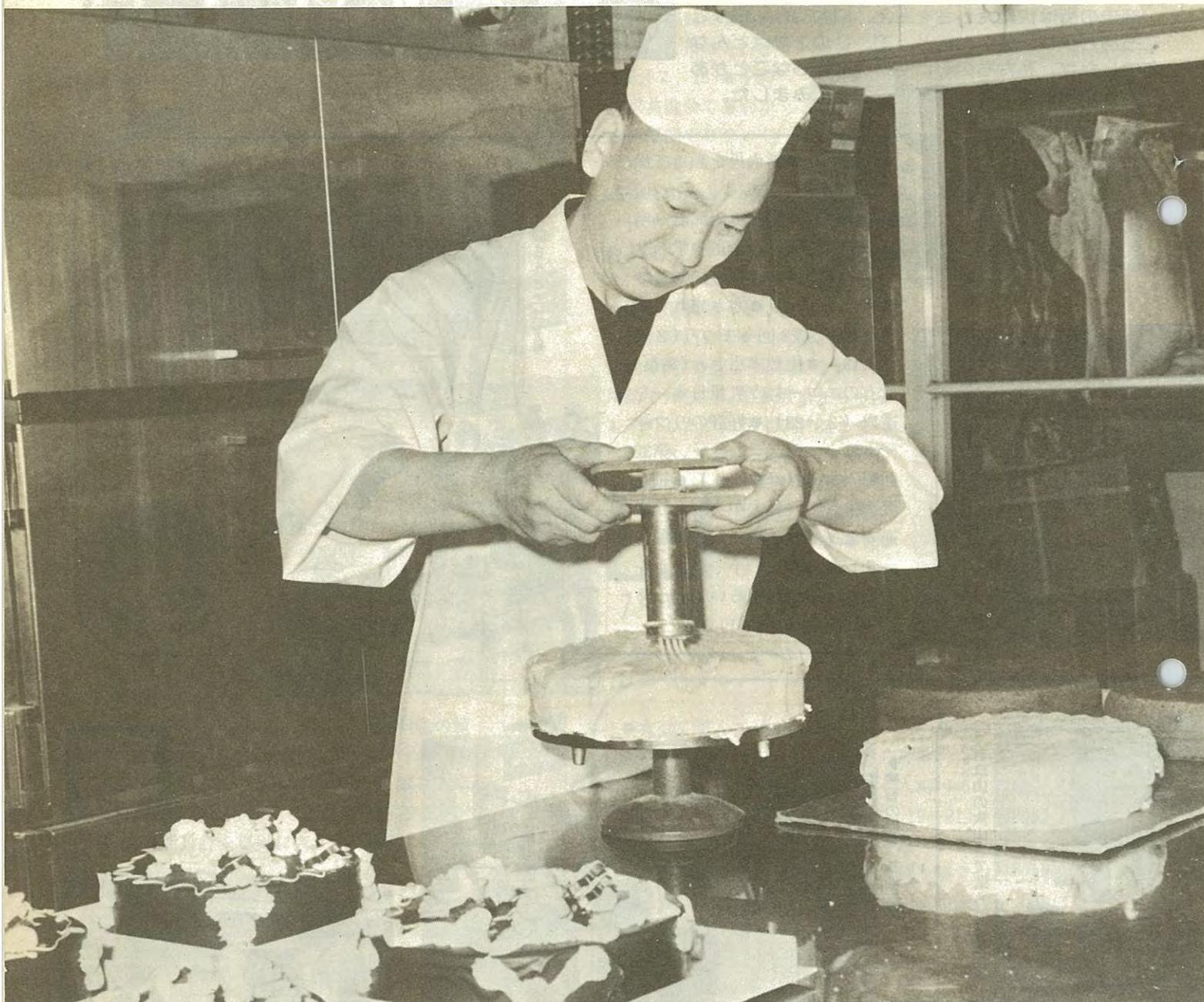
(昭和59年11月1日現在)

人口	21,555	(-30)
男	10,604	(-21)
女	10,951	(-9)
世帯数	6,517	(-10)

人のうごき (10月中)

転入	74人	転出	114人
出生	20人	死亡	10人

||||||| 生きる喜びを創造するまち・幕別町 (新総合振興計画) |||||



お菓子作り一筋に27年

「物を作る職業なので難しさもありますが、完成する喜びが味わえるということは楽しいですね」と話す平井久美さん(48歳・本町)は、昭和32年に杉野菓子店に勤めて以来、27年になります。もうすぐクリスマスを迎えるため、ケーキ作りに忙しくなるそうです。

59年 **12**

No.395

この1年 ら59年

師走の街は慌ただしさを迎え、昭和59年も残すところあと少し。皆さんにとって、この1年はどんな年でしたか。私たちの町にも、いろいろなことがありました。この1年を写真でつづってみました。



◀浄化センターの通水式で
テープカットを行う林町長など関係者

冬

1~3月

- 無火災を願って出初め式(1. 7~9)
- 亀井誠志郎君(明倫)が全道中学スケート大会の500円で優勝(1. 14)
- 寒さ忘れて笑いと歓声、第2回冬まつり(2. 18、19)
- 佐藤孝広さん(駒島)所有のエコー号が乳量日本一を達成(2. 23)
- 好評のリフォームファッションショー、第32回婦人まつり(3. 4)
- 笹島登喜生さん(札内中央町)が交通安全運動の功労で知事表彰(3. 6)
- みんなの手で豊かさを求めて、第7回明るいまちづくり住民大会(3. 11)



▶佐藤さんとエコー号



◀第二回を迎え、定着してきた冬のイベント



◀「おいしいいね」と大流しソトメンに
ちびっこは大喜び



◀有珠山の火山岩で造られた依田勉三翁頌徳之碑

秋

10~12月

▶練習の成果、幕別高校
アーチェリー部全道一



- 榎本家3人遺句集「福寿草」が発刊(4. 29)
- 九本栄一さん(依田)が民謡歴30年の記念演奏会(4. 29)
- 石川末吉さん(札内暁町)が運転技術員で貢献、勲7等瑞宝章(5. 1)
- 1億7,500万円の被害を出

- した集中豪雨(5. 2)
- 念願だった公共下水道の終末処理施設「浄化センター」が完成(5. 8)
- 幕別高校アーチェリー部男子が全道2連覇(6. 3)
- 起震車も登場した第9回東十勝消防幕別大会(6. 1)

春

4~6月



▲大きな被害をもたらした5月の豪雨

写真で見る さよونا



わたなべ よしたか
渡辺 善隆さん (33歳)
(相川713・農業)

土壌凍結で農作業の遅れから始まったこの一年。夏場の好天とともに、心配した収穫の秋もずっしりとまではいきませんが、平年並みに推移し、まずは汗を流した「かい」があったと思います。しかし、現況の農業情勢は、われわれ農民の一年間の汗さえも無視し、価格の低迷、据え置きと、どうにもできぬ悔しさを感じます。次の時代を担う子供たちのことを考えると、ぜい肉を取っていく農業経営へと思っています。



ふるた かずあき
古田 和昭さん (39歳)
(札内共栄町176・商業)

近年連続の不景気の中で、商業界にとって大変な一年でした。私は、サラリーマン15年に終止符を打ち、念願の店を持って6年になります。一経営者として、いろいろ考えさせられることがあります。大型店の進出は業界に及ぼす影響は非常に大きく、今後の課題になりそうです。私も、地域のお客様に愛され喜んでいただく店づくり、大型店、量販店にない小さな店の良いところを見いだし、要望にこたえます。



ふじしま れいいち
藤島 令子さん (42歳)
(旭町18・主婦)

昭和59年も残り1カ月あまりで終えようとしています。なんとなく早い1年でした。年頭より新聞やテレビなどで、景気が悪いと報道されましたが、物価は落ち着いてきたような感じです。しかし、今年は公共料金の値上げが続きました。地方バス、タクシー、国鉄などの運賃値上げ、さらに消費者米価、国立大学授業料が引き上げられました。家庭を守る主婦として、生活設計を真剣に考えようと思えます。



はやしなか たもつ
林中 保さん (34歳)
(札内あかしや町43・公務員)

時代の流れの速さを感じる昨今。10年、一昔と言った時代は過去のこと。やたら横文字がはん濫し、言葉も和洋折衷ぎみ。私たちの職場も、しかり、コンピューター相手に悪戦苦闘。社会の大きなうねりの中で、押し流されることなく毎日を暮らしてゆきたいものであるが、見る物、聞く物、暗いニュースばかり。来年は「丑年」、のんびりで行きたい。この一年、家族全員が健康で過ごせたことが、収穫でした。

今

年

を

振

り

返

つ

て

- 農業委員会委員選挙、新会長は寺林幸雄氏(7.15)●十勝畜産共進会で幕別から3部門でグランドチャンピオンに(7.25)●110位の大流しソーメンが人気を集めたサマーカーニバル'84(7.28、29)



▲手拍子と感動の輪が広がった
わたぼうしコンサート

- 小野田美智子さん(札内西町)が「サケの薫製」の研究活動で町特産品開発補助金制度適用第1号(8.10)●坂本九ちゃんも来町したふれあい広場'84まくべつ(9.8、9)●有田孝さん(美川)が統計功労者として道社会貢献賞を受賞(9.20)●100人の町民の手で明野ヶ丘公園に芝桜を植栽(9.29)

夏
7~9月



- 食べて遊んで秋を満喫、第7回産業まつり(10.7)●わが町に名物を——と特産品開発推進協議会が発足(10.9)●郷土発展のために東京幕別会を結成(10.14)●札内中学校が満10歳を迎え記念式典

- (10.15)●施設を見て町政理解、100人が参加した町づくり見学会(10.19~21)●依田地区で勉三の遺徳をたたえ石碑を建立(11.23)●札内東中学校が8億円をかけ、12月20日に完成予定

東京幕別会設立総会

約百人が出席した
東京幕別会の設立総会



昭和59年度 予算

上半期執行状況

9月30日現在

学校の建築する場合に使われます。基金は、皆さんの家庭の貯金と同じです。特定の目的のためにお金を積み立て、「学校を建てる」「土地を取得する」「町の台所が苦しい」ときなどに使われます。

▼**財政調整基金**
町財政の長期にわたる健全な運営と、年度間の財源変動に備えて積み立てられ、町の台所が苦しくなると使われます。

▼**教育施設建設基金**
私たちの住む郷土をより住みよいものにするため、本年度もいろいろな事業を進めています。その台所の内容はどうなっているのでしょうか。

五十九年度上半期は、景気の低迷の続く中で、適切なサービスを確保するため、予算の完全執行に努めています。九月末の執行状況は、一般会計が歳入で三九・二％（前年度同期四四・〇％）、歳出で三七・二％（同四〇・二％）と、いずれも昨年を若干下回る執行率となっています。

▼**土地開発基金**
公共の利益のために取得する必要がある土地を、購入するために使われます。

▼**減債基金**
町の借金を償還するために充てられます。

▼**奨学資金積立基金**
基金から生ずる収益が、奨学資金支給に充てられます。

▼**国民健康保険準備基金**
保険給付に要する費用が不足を生じた場合に充てられます。

また、特別会計、公営企業会計については、やや昨年を上回る執行率で経過しています。なお、来年三月三十一日までは百％執行の見込みです。

【表一参照】

●表一 一般会計予算の執行状況

(単位：千円)

区分	科目	予算現額	収入済額	執行率 (%)
歳入	地方交付税	2,383,897	1,777,542	74.6
	町税	1,159,175	573,055	49.4
	国庫支出金	814,929	35,933	4.4
	町債	785,300		
	諸収入	554,095	224,384	40.5
	分担金、負担金	419,259	30,494	7.3
	道支出金	369,714	49,734	13.5
	譲与税、交付金	244,584	76,272	31.2
	使用料、手数料	146,294	71,527	48.9
	その他	435,971	25,055	5.7
計	7,313,218	2,863,996	39.2	
歳出	教育費	1,472,495	458,014	31.1
	土木費	1,328,497	515,800	38.8
	公債費	994,332	326,151	32.8
	農林業費	933,310	147,531	15.8
	議会、総務費	893,873	397,659	44.5
	民生費	855,364	433,547	50.7
	衛生費	299,636	159,894	53.4
	消防費	276,706	144,070	52.1
	商工費	163,546	112,806	69.0
	労働費	17,706	12,414	70.1
	その他	77,753	9,097	11.7
	計	7,313,218	2,716,983	37.2

●基金の現在高

(単位：千円)

総額は 1,213,993	
基金名	現在高
財政調整基金	600,000
教育施設建設基金	275,000
土地開発基金	136,000
減債基金	68,000
奨学資金積立基金	10,244
国民健康保険準備基金	114,757
その他	9,992

決算から見た 財政の健康診断

財政の健康状態を計る物差しに、「財政力指数」と「経常収支比率」、「公債費比率」の三つがあります。この物差しで、幕別町の財政を見てください。

◇**財政力指数**
自治体の自主性の尺度で、指数が高いほど自まかないできるお金が多いことを意味します。本町の場合は三〇・七％で、管内で三番目に高い指数です。

◇**経常収支比率**
自由に使える財源がどのくらいあるかで、財政の硬直化がどうかを判断します。比率が低いほど自由になるお金が多く、硬直化していないことを表します。本町は七七・三％で、管内七番目に位置しています。

◇**公債費比率**
借金の返済に充てられるお金で、比率が高くなると財政運用が苦しくなり、借金が首が回らない状態になります。本町は一七・一％で、管内では低い方から七番目です。

●表-2 特別会計・公営企業会計の執行状況 (単位:千円)

区分	予算現額	歳入		歳出		
		収入済額	執行率 (%)	支出済額	執行率 (%)	
特別会計	国民健康保険	836,117	376,115	45.0	291,349	34.8
	簡易水道	22,421	8,974	40.0	8,422	37.6
	下水道	870,426	314,536	36.1	343,716	39.5
	土地区画	480,603	118,200	24.6	212,574	44.2
	駒島営農	2,330	1,036	44.5	956	41.0
	炊供施設	8,057	4,811	59.7	3,515	43.6
	老人保健	700,411	326,956	46.7	290,108	41.4
	計	2,920,365	1,150,628	39.4	1,150,640	39.4
	公営企業会計					
水道	202,925	83,217	41.0	79,233	39.0	
国民宿舎	収入 294,727 支出 289,350	157,984	53.6	137,636	47.6	
計	収入 497,652 支出 492,275	241,201	48.5	216,869	—	

大上、村上さんに文化賞

スポーツ賞は小川さん



大上 長治さん



村上 春雄さん



小川 義男さん

町教育委員会では、本年度の文化・スポーツ賞を決め、十一月十日に町民会館で表彰式を行いました。受賞者は、文化賞が二人、少年文化奨励賞十一人、スポーツ賞一人、スポーツ奨励賞二団体と二人、ジュニアスポーツ奨励賞九団体と二十人です。

文化賞の大上長治さん(六六)〓旭

町、会社役員〓は、百人一首の同好会「吹雪クラブ」を設立し、二十一年間、会費として会の発展に努め、全町かるた大会を二十一回、東北海道大会を十一回開き、成功させました。会員としても全道大会の優勝をはじめ、東北北海道大会でも数多くの優勝実績を持っています。

村上春雄さん(六六)〓緑町、無職

〓は、昭和十六年に琴古流・尺八入門。同二十五年に奥伝位を授与され、以来、十勝民謡会の伴奏者として活躍し、五十五年には、全国民謡会日本歌道院尺八の公認師範となりました。一方、江差追分の伴奏者としても長年にわたり貢献し、その功績が認められて、五十九年度の江差追分全国大会で、江差追分尺八功労賞を受けました。

〓スポーツ賞の小川義男さん(四七)〓札幌中央町、自営業〓は、町野球審判部、軟式野球協会の設立時から所属し、野球の普及発展に努める一方、選手としても活躍し、数多くの全道大会に出場しました。また、五十一年度から体育指導委員として、地区のスポーツ振興に尽力されています。

そのほかの受賞者は次のとおりです。

少年文化奨励賞

- ▽福島学(幕別小)▽景山美智恵(同)▽山中啓寛(同)▽老松麻紀(札内南小)▽岩田統(同)▽長嶋典慶(同)▽増地寿倫(同)▽宇佐美千春(札内中)▽田村陽子(同)▽瀧瀬裕哉(幕別中)▽齊藤玄(同)

スポーツ奨励賞

- ▽幕別高校アーチエリート部▽小川モータース野球チーム▽田中千秋〓南町(ラグビー)▽近藤洋文〓幸町(アーチエリート)

ジュニアスポーツ奨励賞

- ▽幕別スイミングスクール女子Aグループ▽長田恵美(駒島小)▽

長井樹生(幕別小)▽長井和(同)▽林志帆子(同)▽久保一幸(札内南小)▽鳥海正行(同)▽高橋いのり(同)▽坂本光晴(同)▽増地寿倫(同)▽中村容子(同)▽駒島中学校軟式庭球部▽幕別中学校陸上チーム(男子八百リレー)▽札内中学校陸上チーム(男子八百リレー)▽同(女子四百リレー)▽札内中学校駅伝チーム(男子)▽同(女子)▽札内中学校陸上部▽札内中学校男子卓球部▽工藤章智(札内中)▽長谷川英人(同)▽長尾優高(同)▽香田裕一(同)▽馬場美和子(同)▽穴水ちさ子(同)▽駒井健一(同)▽小串勝美(幕別中)▽竹内満晴(同)▽内野恵理子(同)

歴代の文化・

スポーツ賞受賞者

- 文化賞・スポーツ賞の表彰は、昭和四十八年から始まり、今までに文化賞が二団体と十三人、スポーツ賞は九団体と二十二人が受賞しています。(敬称略)
 - ☆文化賞
 - ・48年〓河合福松(絵画)
 - ・49年〓糠内獅子舞保存会
 - ・51年〓大戸秀夫(絵画)〓齊藤健昭(同)〓武田文子(同)〓有宏(絵画)
 - ・53年〓土井博詞(水墨画)〓広瀬
 - ・54年〓松井多平(書道)
 - ・55年〓松橋経子(NHK青年の主張発表)
 - ・56年〓乙武宗恵(茶道)〓中村実(民謡)〓九本栄一(同)
 - ・57年〓高桑幸子(舞踊)〓浦田ミヨ子(民謡)
 - ☆スポーツ賞
 - ・48年〓柘田光雄(陸上)〓大須賀留美子(同)〓本田敏晴(同)〓秋山雅子(同)〓宮本誠司(相撲)
 - ・49年〓幕別中学校柔道部
 - ・50年〓相原毅(陸上)〓幕別中学校野球部〓幕別中学校駅伝チーム〓幕別町柔道少年団
 - ・51年〓松田記一(スケート)〓篠原雅人(同)〓幕別中学校駅伝チーム〓幕別町剣道連盟
 - ・52年〓松田千歳(ソフトボール)〓石川雅洋(陸上)
 - ・54年〓西出元(アーチエリート)〓斉藤剛(同)〓村田達也(スケート)〓幕別高校アーチエリート
 - ・55年〓伏見克代(スケート)〓黒沼寿光(同)〓長崎克己(同)〓中村啓光(同)〓須谷久美子(アーチエリート)〓松本健(同)〓幕別高校アーチエリート部男子〓同女子
 - ・56年〓金須武(野球)〓安部政夫(柔道)
 - ・57年〓三好政男(野球)
- 〓五十五年までは町条例による。以降が町教委新規則による受賞者。文化賞50、52、58年、スポーツ賞53、58年該当者なし。

大切な意見を町づくりに反映

問
送
る
句
を
町
長
に
私
の
声

町民の皆さんが、町政について日ごろ思っていること、将来への希望や意見などをお聞かせいただき、町づくりに反映させるため、「私の声を町長に送る句問」(十月八日～十七日)を設定しましたが、百四通・百五十八件の貴重な意見が寄せられました。その主な意見と回答をご紹介します。

▽道道更別・幕別線の札内中央町と札内泉町にまたがる踏切(東九号)の拡幅はできませんか。
答―土木現業所へ要請しています。が、将来、この路線が変更となるため解決が遅れています。しかし、

いつまでも放置できませんので、本年度中に町予算をもって、関連道路との結び付きを含めて、専門家に調査を行わせます。それに基づき、土木現業所と協議を進め、解決を図りたいと思います。

▽札内南あかしや団地内を経由するバスの運行はできないか。
答―過去にも要望があり、バス会社と協議した経緯があります。バス会社としては、「若草町、あかしや町の利用者も多く、地域的に見て現状の路線が最も効果的であり、交通安全、運転管理の面からも、か

ぎ型の路線も困難である」との考え方です。路線の変更は、利用地域全体の合意を得られなければできず、今後、地域で話し合う機会をつ

くり、再度、バス会社と協議します。

◇
▽幕別～札内間(旧国道)の舗装を早くしてください。
答―この路線は、国道のバイパス的な役割を果たす、重要な道路と考えています。五十三年から路盤改良を進めていますが、六十一年までに完成する予定です。舗装については、改良工事の完成に合わせて順次行っていますが、早期完成に向けて努力します。

▽相川六線道路の舗装工事の早期着工を。
答―本路線は、現在、二種類の国の補助事業で整備を進めています。農林水産省関係で施工している、東二十号から東十七号間については、改良と舗装を含めた事業として採択されており、六十一年には改良工事を完成し、同年には舗装に着手できると考えます。

また、建設省関係で施工してい

る国道から東二十号間については、改良工事が本年度完成しました。舗装については、新規事業となりますので、着工に向けて国、道へ要請します。

▽温泉坂(日新線)の歩道を延長してほしい。
答―ご要望の歩道は現在、施工中であります。本年度は吐月橋まで完成の予定です。来年度は、橋より北側の団地まで計画しています。

▽猿別橋から道道幕別大樹線(糠内道路)まで、早く歩道を設置してください。
答―この路線は、帯広土木現業所が管理する道路ですが、「現在、根室本線の立体交差について検討中であり、この架橋位置によっては猿別橋を含み、糠内道路への取り付け位置も検討しなければならぬ」とのことで、歩道設置について、施工年次を示すに至っておりません。町としても、さらに要請してまいります。

◇
▽公営住宅で、犬を飼っている入居者に対して、厳格に指導してください。
答―入居時はもちろん、入居後についてもペット類の飼育をしてはならないよう指導していますが、不心得の方がおり苦慮しています。外の入居者に迷惑がかからないよう指導します。

◇
▽ゴミ収集日の日時を守らない人が目につく。厳しく指導できないものか。
答―四月にゴミ収集カレンダーを全戸に配り、収集日の徹底を行っています。しかし、収集日以外に搬出する人が後を絶ちません。さらに粘り強く指導していきます。

▽札内桜町に公園を造ってほしいのですが…。
答―桜町は現在、区画整理事業が行われていますが、この中に四カ所の公園造成計画もついています。近年中に整備しますので、その間桜町一三七(九百九十平方メートル)のちびっこ広場をご利用ください。

◇
▽医療制度について、手続きの方法など「小冊子」にまとめて配布したら良いと思いませんか…。
答―町の「おしらせ」などで周知していますが、不十分かと思えます。



収集日以外に出されて散乱するゴミ



早期拡幅が望まれている東九号踏切

そこで今回、国民健康保険の加入世帯へ、小冊子(わが家と国保)を十二月中旬までに配布しますので、活用していただきたいと思ひます。

▽冬期間でも利用できる、屋内ゲートボール場を造ってほしい。

答へ多くの愛好者から要望を受けていますが、近年次での建設は無理です。しかし、現在、簡易な施設か町有施設の活用を含めて検討しています。また、十一月から週二回、農業者トレーニングセンターを使用できますので、どうぞご利用ください。

▽農業者トレーニングセンターの開館時間を延長してほしい。

答へご承知のように、開館時間は午前九時から午後九時までとなっています。さらに適正な運営・管理をするため、運営委員会と相談しながら、新年度に向けて考えていきたいと思ひます。

▽青少年の非行防止について、具体的な取り組みがありますか。

答へ青少年が非行に走る要因は、家庭、学校、社会環境など複雑にかかりあっています。子供たちの健全育成を図るため、先生、PTA、民生児童委員で構成する、町校外生徒指導協議会を設置しています。学校、家庭、地域が一体となって、校外における指導を積極的に推進しています。

▽国鉄の合理化により、幕別駅が

無人化されないように。

答へ国鉄は、営業体制の抜本的な見直しの一環として、釧路鉄道管理局管内で、幕別駅をはじめとして芽室駅、大槲毛駅の業務委託を、本年度十月から実施する方針を打ち出しました。これは無人駅になるのではなく、民間会社に業務を委託するという内容のもので、町では町議会とも歩調を合わせながら、直ちに国鉄当局へ反対を伝えました。町の発展や住民生活、産業・経済に与える影響、町のイメージダウンまた、積雪寒冷地帯における公共輸送体制の重要性などから、この計画を撤回するよう、再三再四、要望してまいりました。



1日平均1700人あまりの乗降客がある幕別駅だが...

現在、当初予定の十月一日が二月に延び、十二月一日からとなりました。しかし、現在勤務されている国鉄職員は、六十年三月まではそのまま配置されます。

今後とも、町民の皆さんと一体となって、幕別駅が無人化されないよう運動を進めていきますので、ご協力をお願いします。

▽公共下水道の事業計画について、札内地区、特に若草町方面の下水道計画をお知らせください。

答へ札内地区の下水道は、十勝川流域関連公共下水道事業として実施されます。従って、札内地区の汚水は、帯広市内に建設されております十勝川流域浄化センターに送り処理されます。

札内地区の下水道事業は、本年度事業認可を受け、国道38号線の拡幅工事に合わせた、圧送管の工事が始まりました。現在の事業認可は、五十九、六十五年間で、札内中央町の全部と青葉町、あかしや町、泉町、春日町、新北町、若草町の一部、面積にして九十五分の整備を予定し、六十五年度末には供用開始となる計画であります。

若草町の下水道工事は、現在、空地になっている部分を除いて六十五年には供用を予定しております。しかしながら、国の財政事情などもあり、計画どおり事業が進まないこともあり、ご承知をおください。

健康相談

質問

三歳になる息子の時に指しゃぶりをして困ります。また、小さいころから寝つきが悪く、時々夜泣きがありました。最近でも夜中に泣くことがあり、泣いたあとでおもらしをするこどももあります。日中の排せつのしつけはうまくいっているのですが...

お答え

(旭町・母親) 幼児期には、リズムが、大人ほど十分には発達していません。そのため、幼児にとって眠るときは生理的に不安定な時間といえます。また、睡眠や排せつなどの生理的発達には、子供によって個人差が大きく、幼児の夜尿や眠る前の指しゃぶりなどを、特に異常と考えないほうが良いでしょう。

この年齢の子供には、まくら元にも同じおもちやを並べてからでないとい眠れないとか、お母さんの髪や耳たぶを触りながら寝るとか、いつも同じタオル

をつかんで寝るなど、就眠儀式と呼ばれるような、いつも決まった一定のことをしてからでないとい眠れない子がいます。指しゃぶりもその一つと考えて良いでしょう。

そこで、指しゃぶりをしないで眠れる工夫、例えば両手を使うキラキラ星と一緒にあげるとか、本を読んでもあげるとき、指さしをさせるなど、口から指をあまり意識せず離せるようにしてあげるとも必要でしょう。

しかし、生活のリズムが発達するにつれて、自然に指しゃぶりや夜尿はなくなりません。逆に過度な禁止やしつけをして、そのことをやめさせようとするのは、かえって子供の発達に悪い影響を与える場合もあるのです。

指しゃぶりや夜尿、性器いじりなどの習癖は、一概にこうすべきですという結論はありません。ご両親のしつけや考え方もあることですから、子供とのかかわりの中で、いちばん適した解決方法を見つけて出してください。ただ、子供の表面的な現象だけを捕らえて心配しすぎることもなく、それはどうしてなのかということも、よく考えてあげることだけは忘れないでください。

保健予防係では、皆さんからの健康に関するご質問をお待ちしています。どんなことでも構いませんので、どしどしお寄せください。

(町保健婦)



まちの ニュース

◀内藤九段、ノドも披露
五十九年度の町文化講演会が、将棋の内藤九段を招いて、十一月四日に町民会館で開かれ、ユーモアあふれる口調と「おゆき」の披露で聴衆を魅了していました。



▶横路知事「ふるさと館」を視察

「ふるさと訪問」のため、十一月十九日に十勝入りしていた横路知事は、二十日にふるさと館を訪れ、町長からの福祉村についての説明に耳を傾けたり、「貴重なものがたくさんありますね」と展示物に見入ったりしていました。

◀ホクレン農産加工場が着工
農産物の付加価値づくりを目指すホクレンでは、軍岡に建設する農産食品加工場の地鎮祭を、11月8日に現地で行ない、農業関係者や工事関係者など50人が出席しました。同工場は、来年秋からスイートコーン缶詰を生産。



▲途別3号橋で喜びの渡橋式

農村総合モデル事業の一環として建設されていた、途別3号橋が完成し、地域住民など関係者が出席して、渡橋式が行われました。地区の人たちは、永年の願がかかったと、笑顔で渡り初めをしました。

▶スリランカ料理を学ぶ

スリランカから帯広畜大に留学中の、スエールヴァ夫妻を招いた「スリランカの料理とお話の夕べ」が十一月十一日、町民会館で開かれ、約四十人の町民が料理を教わりました。



幕別風土記 十七

大正十三年五月の新田の山の火事は、五日間も燃え続け、家に飛び火するのを防ぐため、昼夜寝ないで守ったものです。



山口 たねさん(83歳)
札内新北町178

私は岐阜県揖斐郡坂内村字坂本で、明治三十四年九月三十日に生まれました。明治三十八年四月に、父・田辺寅松、母・ヨソと坂内村団体八戸の人たちと、小さな船で大津へ着きました。幕別へ来てから、父の伯父の家でお世話になり、そして、国から五町歩の原野をもらって、古舞で開墾することになったんです。小学校は白人尋常小学校付属古舞簡易教育所(今の古舞小学校)へ入学しました。

その後、大正九年の二十歳の時に、西猿別の山口伊平と結婚しました。次の年に、古舞東八線六十六番地へ分家し、大正十二年十二月に金比羅山(現在は豊岡)へ移って、新田農場の小作をすることになりました。当時はね。大木ばかりで、伊

平が市街まで買い物へ行くのに、大木を目印に行ったもんですが、原始林で道に迷って、なかなか帰ってこれなかったんですよ。大正十三年五月に、新田の山が火事になり、五日間も燃え続いたんです。当時、金比羅山に十五戸入植していましたが、そのうち、七戸がまる焼けになりました。その時は風が強く、止まらなかつた。若から大勢の人が手伝ってくれ、私の家も火は着いたのですが、どうにか焼失しないで済んだものです。

当時は、冬期間には開墾する場所の木を切って木炭を造り、帯広まで馬ぞりで運んで売りました。夏は未墾地を耕したんです。作物はイナキビ、小麦、大豆、小豆などを作りました。炭焼きと畑作をしたので生活は楽なものでしたよ。娯楽といえば、秋祭りの運動会で蓄音機を聞くことぐらいでしょう。

昔の生活を振り返ってみれば、うそみたいですが、私たちがいかに変化の激しい時代を生き抜いてきたような気がします。

★ みんなの 声

〈エキノコックス汚染地域〉



「エキノコックス」は全道的な広がりを見せています。北海道衛生部のまとめによると、キツネやネズミ、ブタなどの媒介動物

新聞などの報道によると、エキノコックス汚染が全道的に広がっているようです。管内でも、食肉用豚からエキノコックス虫が発見されていますので、とても心配になってきました。

エキノコックスの予防対策は…

した。七月号の広報まくべつに、エキノコックス関係の記事が載っていました。その後、具体的な予防対策はどの程度進んでいるのでしょうか。(三十八歳・主婦)

■お答えします

媒介動物調査と衛生教育

で正しい知識の普及

「エキノコックス症」は、糸虫の一種であるエキノコックス属の幼虫が、人やネズミに寄生し、肝臓などを侵襲します。

「エキノコックス」

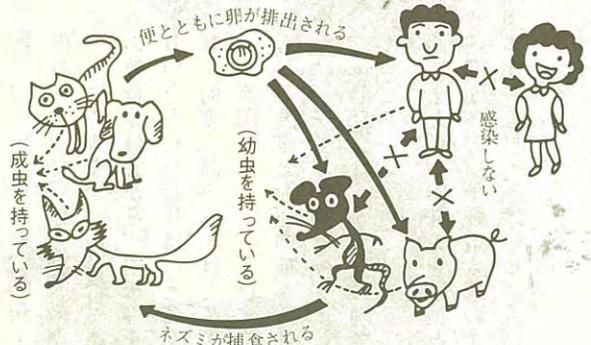
は全道的な広がりを見せています。北海道衛生部のまとめによると、キツネやネズミ、ブタなどの媒介動物からエキノコックス虫が見つっています。このため町会、今年六月に庁内関係課による会議を開催して、次のような諸対策を実施しています。

① 媒介動物対策

● キツネの検体疫学調査

汚染の広がり具合を調査するため、六月に町猟友会の協力でキツネを捕獲し、解剖施設を持つ釧路保健所で検査の結果、エキノコックス虫は発見されていません。今後は、十一月十五日からの狩猟期間中に捕獲計画を予定してお

〈エキノコックスの感染経路〉



り、さらに検体調査を行います。● 野ネズミの解剖検査

キツネが息する地区で野ネズミを捕獲し、帯広保健所において、六回(六月～十月)の解剖検査を行っています。● エキノコックス虫は発見されていません。

● 野犬掃討の強化

野犬は、便と一緒に虫卵をまき散らす媒介動物です。今年四月からの野犬掃討では、約二百頭に上っています。

● 衛生教育

● エキノコックス症になる原因は、エキノコックスの虫卵が口から入ることです。虫卵が付いていると思われる物を食べたり、飲んだりしないことです。このため、媒介動物と人間生活との関連について、正しい知識を持つことが必要です。

● 飲料水対策

● 農村部を対象に、飲用水供給源の実態調査を進めています。この結果に基づき、個別指導に当たる予定です。

「エキノコックス症」は、早く治療すれば完全に治すことができ、人から人へ移ることもありません。予防策を徹底して、住民の不安解消に努めます。(総務部町民課)

新町民登場



ながい みえこ 長井三枝子さん (35歳) 南町81

十五年間住み慣れた地、稚内をあとに、四月に幕別へ転入してきました。

最北端の地・稚内は、日本海側には、利尻、礼文島が間近に見え、お天気の良い日には、カラフトがくっきり見えるという、観光と漁業の町です。

幕別に来て感じたのは、広い畑、夏の青い空がすばらしいということ。稚内は海の近くということから、新鮮な魚には恵まれていましたので、こちらへ来てちよっぴり寂しく思っています。幕別に来てからは、おいしいじゃがいも、肉が食卓のメインになりました。

子供たちもすっかり慣れ、お友だちもたくさんできて喜んでいきます。のんびりした自然の中で、伸び伸び育ってほしいと思っています。

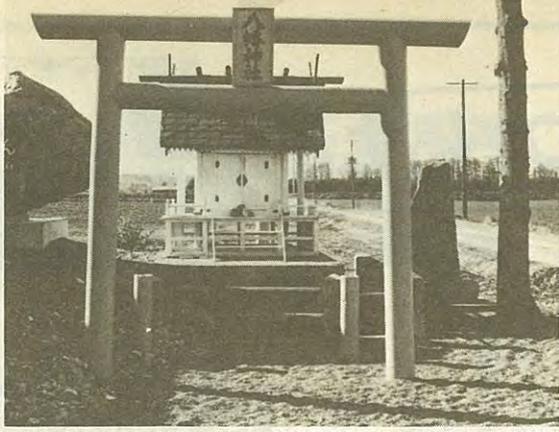
岡山団体神社の 踏み台の太鼓

第56回
幕別
路傍の神——
開拓と信仰 ②
相 川

「われわれの先代が資料を残しておいてくれたらなあ。自分の子供、孫へと伝えていけるのだが……」

開拓の鉞を下ろしてから、今年で八十八年を迎えた岡山団体。自分の住んでいる土地を愛し、部落を愛すればこそ、自らこの団体の歴史を調べる気持ちになった人がいます。その方は、相川の渡辺一美さん（六十二歳）です。

現在の野菜集荷場ができる以前（およそ十年前）、会館（現在の相川担い手センター）の敷地内を仮の集荷場としていたころのことである。渡辺さんは、集荷場に野菜

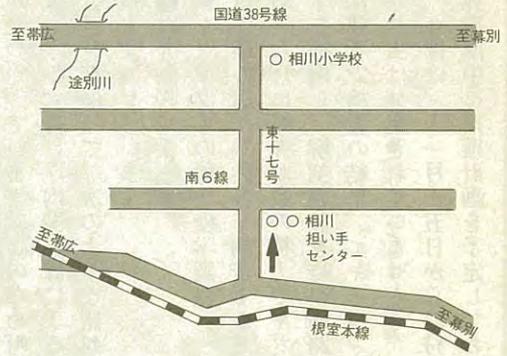


3つの神が合祀して祭られている岡山団体神社

を野積みする時、いつもはなんの気なしに踏み台として使用していた太鼓に、ふと気づいたことがあった。よく見ると、それはかなり古い物で、これは粗末にできない物だと思い、家へ持ち帰った。この太鼓がどのような物か、調べてみようと思ったのが、開拓当時のことを調べることになった、そもそののきっかけで、まさに踏み台である。

この太鼓は、会館の敷地内にある岡山団体のもので、会館の物置にしまっていたものが、いつしか踏み台として使われるようになっていた。渡辺さんは、太鼓に書かれている文字を読もうとしたが、墨で書かれてある上、何分にも古いため、判読することができなかった。

太鼓のことを部落の長老に聞き回ったが、はっきりしたことは何一つ分らなかつた。そこで神社の資料を探し調べているうちに、太鼓のことだけでなく、開拓当時のことも調べる必要があると思ひ、調べ始めたがはつきりしたことが分らず、自分がこれから行おうとしていることが、容易ではないと思つた。



秋祭りに岡山団体神社を参拝した時、この祭神は何の神様だろうと思ひ、よく見ると三枚のお札であつた。それには、「美保神社」「八播大神」「三寶荒神」と書かれてあり、この祭神についても知りたくなつた。そこで、団体の郷里でもある新見市へ出かけたが、昭和十三年四月の大火で資料を焼失し、調べることはできなかった。後日、新見市の教育委員会から、由来等をお送りいただいた時には、とてもうれしく何度も読み返すほどであつた。「美保神社」は、えびす様で知られる漁業と海運の神、「八播大神」は、安産と農耕の神、そして、「三寶荒神」は、かまどの神である。

明治二十九年、田井素を団長とする吉備団体と、千種策太郎の中国団体が白人村へ入地した。入地

後、吉備団体と中国団体が合併し「岡山団体」と改称した。田井素を団長とする吉備団体が、北海道開拓移民団として渡道する時、道中の安全と北海道での発展を願ひ、一行の守護神として美保神社神霊の分祀を受け、この地に三寶荒神と八播大神とを合祀したものである。最後に渡辺さんは、「この部落は、歴史が古くいわれがあるので、自分の調べたこと、知っていることをみんなに伝えていきたい」と話しておられた。渡辺さんのお宅をあとにするころ、空には星が輝き、木枯らしの吹きすさぶ寒い夜でしたが、相川は今が野菜取り入りの最盛期です。

- 取材協力 渡辺 一美さん
- 参考資料 開基85年史「風雪」相川（岡山団体）

「ご寄付ありがとうございます」

- 町社会福祉協議会へ：
 - ▽戸島昭八さん（札内北栄町）から三万円
 - ▽片山花子さん（本町）から十万円
 - ▽NC幕別会代表から一万八千五百円
 - ▽中村弥市さん（五位）から五万円
 - ▽藤原一男さん（南勢）から一万円
 - ▽今田武喜さん（札幌市）から五万円
 - ▽稲上幹吉さん（相川）から三万円
- 老人クラブへ：
 - ▽戸島昭八さん（札内北栄町）から札内寿会へ二万円
 - ▽糠内老友会へ中村ヨシエさん（五位）から三万円
 - ▽西村ユキさん（五位）から一万円
 - ▽藤原一男さん（南勢）から三万円
 - ▽高木房子さん（五位）から一万円
 - ▽岡田改さん（相川）から幕別老人クラブへ二万円

幕別町歌・音頭のレコードがあります

昭和四十一年に、本町の開基七十周年を記念して制定された、町歌・音頭のレコードがあります。値段は一枚二百七十円（実費）です。ご希望の方は、役場出納室（二階）へどうぞ。

ふるさと館年越しシリーズ おがみ小屋で年越し

大晦日 → 元旦
夜11時30分 朝2時



おがみ小屋 → 開拓者たちが入植した当時、作り住んだ家。